

補足文書 ポケット RCT の画面設定について

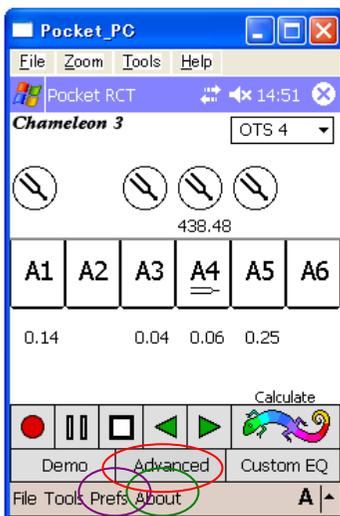
(ポケットタイプ関係の書類ですが、RCT Mac/Win 及び iRCT にも参考になる部分があります。)

RCT は日本でも大変歓迎され、有能なアシスタントとしてご活用頂いています。しかしあくまでもパソコンですので、設定を変更しますとその指示通りの動きを呈し、時には皆様の希望通りの提案や動きをしないことがあります。 設定は RCT 活用の重要なポイントです。 ぜひ RCT 及びパソコンの設定を確認なさり、RCT を正しく快適にお使いくださいよう、お願い致します。

< RCT 内の設定 >

以下の画像内設定が日本での出荷時・標準設定です。

画像 1



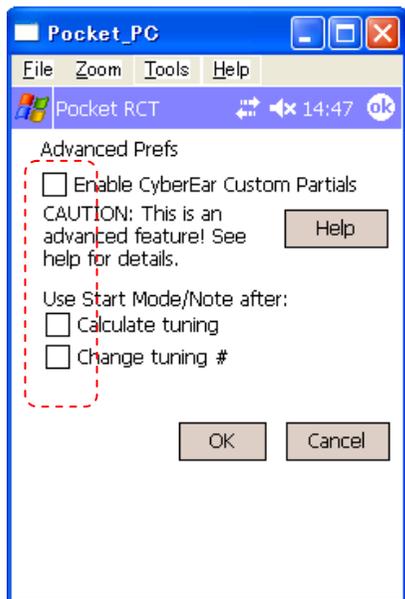
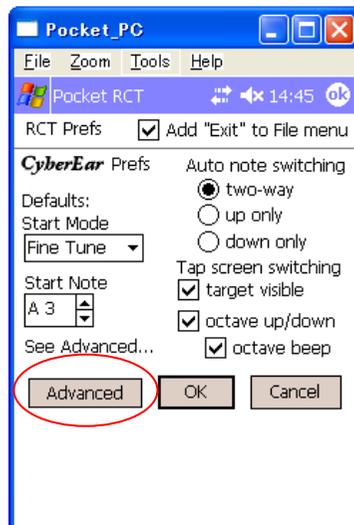
< 画像 1 >

- ★ **About** をタップすると現在のバージョンが上から 2 行目に出ます。
- ★ その左、**Prefs** をタップすると画像 2 に移ります。
- ★ **Advanced** をタップすると画像 4 に移ります。

<画像 2>

- ★ チェックや選択は右でご覧頂く通りが標準設定です。
- ★ Start mode は基本的に Fine Tune にしてください。
- ★ Start Note はお好みです。RCT で調律を開始される音を選択できます。日本では A3 から始めるのが一般的なもので、出荷時は A3 にしてあります。
- ★ この画像内の **Advanced** をタップすると画像 3 に移ります。

画像 2



<画像 3>

左の画面は画像 2 の Advanced タップから入ります。非常に高度な機能※で、その理解なしにチェックを入れると混乱する可能性がありますので、基本的にチェックは入れないで下さい。

逆に何かおかしいと感じた時、ここにチェックが入っていないことを確認してください。

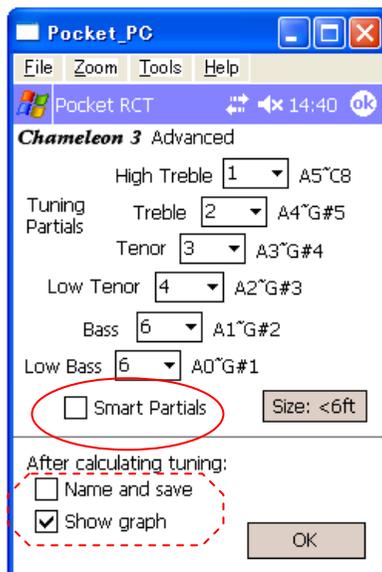
画像 3

※チェックを入れますと、特定の音の部分音（倍音）を変えますので、設定をよく理解していませんと他の調律に影響を及ぼすことがあります。

<画像 4>

- ★ 画像 1 の Advanced のタップから入る画面です。Smart Partials にチェックを入れると、「RCT の提案にお任せ」モードになってしまいますので、お気をつけください。日本での調律師さんの標準的な好みをふまえ、チェックははずし、右のような設定で出荷しております。現在のところはチェックしないことをお勧めします。（ために Smart Partial にチェックを入れてみてください。1、2、3、5、6、7 の設定になります。）
- ★ Name and Save には出荷時チェックは入れていません。データを保存される場合はこのチェックが必要です。データ保存されない場合は、チェックをはずしておいた方が余計なメニューが出現せず、戸惑いが無いと思います。
- ★ Show graph はチェックを入れておいてください。チェックが入っていないとグラフが出ません。

画像 4



<ポケットパソコンの設定で RCT に関わる部分> HP 社製の場合
機種によって画面は異なることがあります。



スタートから
設定をクリッ
クします。

画像 5



システムを
クリック
します。

画像 6

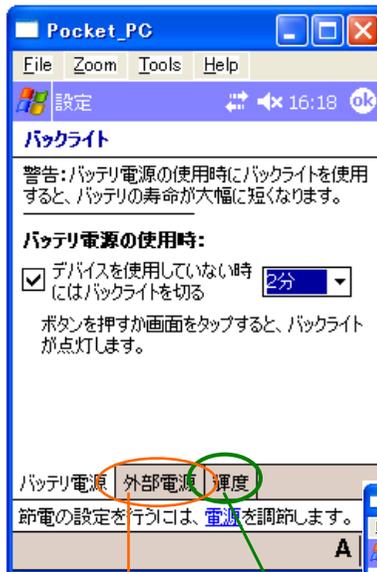
画像 7



画像 11、12 へ

セルフテストは、HP 社の指示
がない限り、触らないで下さい。
元に戻らなくなる分野が
あります。

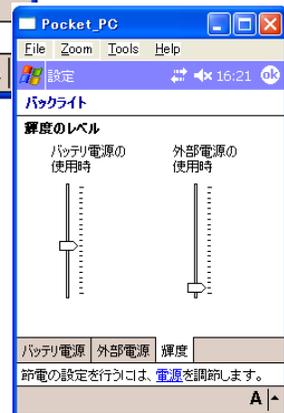
画像 8



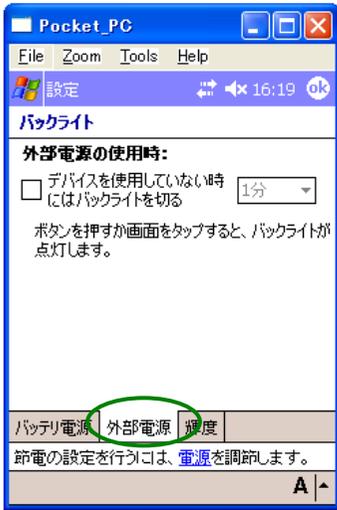
画像 10 へ

バックライトの調整です。
バッテリーを節約したい時
は少し暗めにできます。
外部電源使用時は右図より
明るくして良いと思います。

RCTは自ら動くソフトで
すが、“タップ”をしな
い限り、ポケットパソ
コンが「デバイス (パソ
コン) を使っていない」と認識
します。バックライトの
切電も、設定時間でフ
ワッと暗くなります。バッ
テリーを節約しつつも、
調律作業に支障のない時
間設定をしてください。



画像 9



＜画像＞10

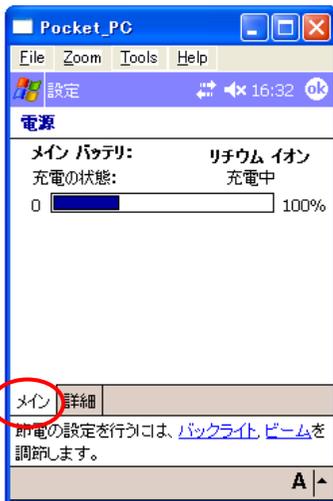
外部電源はコンセント／ケーブルにより電源が常に供給されている状態ですので、バックライトを切る必要はなく、チェックははずします。

画像 10

＜画像 12＞

電源の詳細タブをタップしてデバイス（パソコン）を使用していないときの切電時間を調整します。

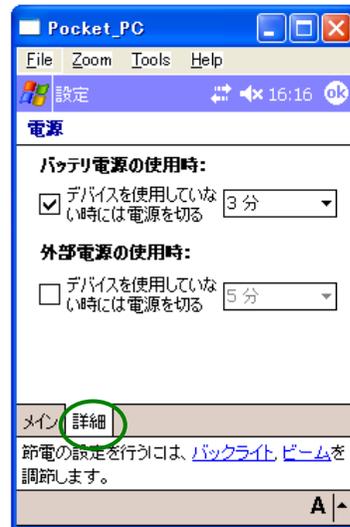
それで 30 秒ぐらいの設定では調律中、すぐ切れてしまいます。2～3 分の設定が望ましいでしょう。また、あまり長く設定すると、本当に使用していない時も電源が入ったままになるので、バッテリーが消耗します。



＜画像 11＞

電源のメイン画面です。ここで充電の状態を確認してください。

画像 11



画像 12

ポケット PC の操作でご不明の点はメーカーにお尋ね下さい。

末永くポケット RCT をご愛用ください！

レイバーン社
ピアノリソースセンター